

⑦ 身体状況など

あなたの今のお体の状態や、困っていることについて、次の中から該当するものにチェックしてください。

- 立つことや歩行ができない
- 音が聞こえない（聞き取りにくい）
- 物が見えない（見えにくい）
- 言葉や文字の理解が難しい
- 危険なことを判断できない
- 顔を見ても知人や家族とわからない
- その他（ ）

⑧ 家族構成

あなたが今お住まいの自宅等での家族構成について、次の中からあてはまるものにチェックしてください。

- ひとり暮らし
- 2世代同居（同居人数：あなたの他に 人）
- 夫婦のみで同居
- 3世代同居（同居人数：あなたの他に 人）
- その他のひとと同居（同居人数：あなたの他に 人）

⑨ かかりつけ医などの情報

あなたのかかりつけの病院や、今使っている福祉や介護のサービスを記入してください。

医療機関・事業所等名称	<input type="checkbox"/> 市内 <input type="checkbox"/> 市外	担当医(者) ()
	<input type="checkbox"/> 市内 <input type="checkbox"/> 市外	担当医(者) ()

⑩ その他特記事項

避難する時に特に気を付けること、支援者に知っておいてほしいことなどがあれば、記入してください。（普段過ごす部屋や寝室の位置、不在時や避難済みの場合の目印、避難しやすい経路、病状などで特に配慮が必要なことなど）

様 []

※ 必ず皆さん提出してください。（昨年度、提出した方も再提出が必要です。）
 ※ 9月末日までに提出してください。

避難行動要支援者名簿
登録同意書

大野城市災害時避難行動要支援者
支援計画届出書兼情報提供同意書

web DL

① 情報提供に関する同意 ※必ず記入してください

あなたの避難支援カードの情報を、支援してもらう人たちに事前にお知らせしてもいいですか？

- 事前の情報提供に 同意します。 同意しません。
- （どちらかに✓チェックしてください。）

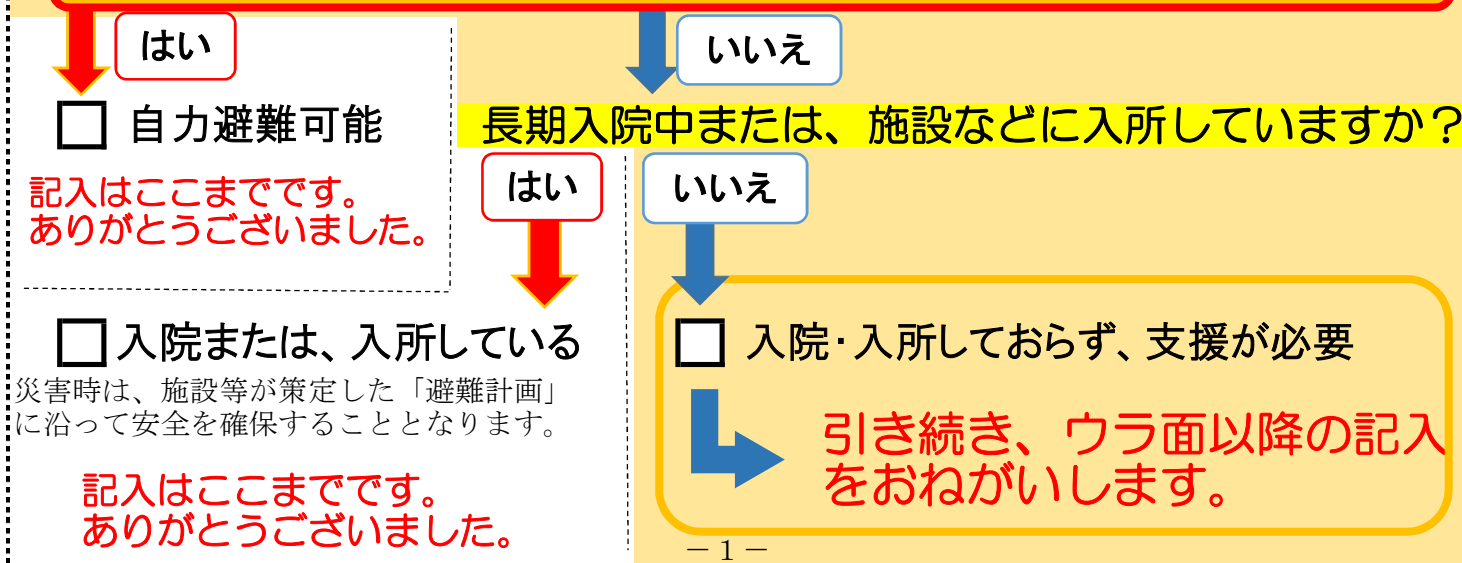
令和 年 月 日 署名 (印)

代理署名者 (続柄)

なお、災害発生時は、同意の有無に関わらず、災害対策基本法に基づき、避難支援カード（支援計画）の内容について、避難支援等関係者へ情報提供することがあります。

② 支援の希望 ※必ず記入してください
 （情報提供に同意しない場合も記入してください。）

災害がおきたとき、ご自分で（同居の家族と）避難所まで避難ができますか？



③ 基本情報

あなたのお名前や、住所などの情報です。
市でわかる情報はあらかじめ印字していますので、ご確認ください。
また、空欄になっているところにもご記入をお願いします。

フリガナ		性別	生年月日	生
氏名			血液型	
住所			電話番号	
健康保険証の記号・番号 または 後期高齢者医療の被保険者番号				
障害者医療証など公費医療の 受給者番号 ※持っている人のみ				

④ 緊急連絡先

親族など日頃から連絡を取り合っている方を記入してください。
(日頃のあなたの状況がわかる人であれば、遠方の方でも大丈夫です。)

	氏名	住所	電話番号	続柄
緊急 連絡先				

※ 連絡先は、携帯電話など連絡のつきやすい番号を記入してください。

ご記入いただいた情報は、本市が取り組んでいます「緊急連絡カード(※)」に記載し、ご本人へお送りします。

※「緊急連絡カード」とは、事故や急病などで本人が連絡先などを伝えることができない時、緊急連絡先などの情報を記載したものを、自宅に保管しておいて救急活動等に活用するものです。

緊急連絡カードについて、くわしくお知りになりたい方は、
市役所福祉課（電話580-1851）までお問い合わせください。

⑤ 支援者の指定

災害がおきて避難するとき、誰に支援してもらいますか？（次の3つから選んでチェックしてください。最も望ましいのは、「お知り合いの方」です。）

お知り合いの方

※事前にご本人の承諾を得て、下記にその方の氏名等を記入してください。
1名でも結構です。

フリガナ		住所	
氏名		電話番号	
フリガナ		住所	
氏名		電話番号	

緊急連絡先（2ページに記載）の方

※近隣の方で、実際に災害時の支援が出来る方に限ります。
事前にご本人の承諾を得てください。

地域のみなさん

※支援を頼めるお知り合いがいない場合は、自主防災組織（区）や隣組の方、民生委員・児童委員などを指定します。ただし、次のことに留意してください。

- ・自主防災組織等で避難支援等関係者を決定するよう努めますが、期待に添えない場合もあります。
- ・避難支援等関係者が決定されていないと、災害時に迅速な支援が行えない可能性があります。
- ・災害時には、自らの命は自分で守る、または、隣近所が助け合って地域の安全を守るという「自助・共助」が重要です。届出者（申請者）自身で支援者を決めることに努めましょう。

⑥ 支援の方法

災害がおきて避難するとき、支援してほしいことは何ですか？
次の中から該当するものにチェックしてください。

- 避難するよう声をかけてほしい
- 一緒に避難してほしい（身体的な介助はらない）
- 身体的な介助をしてほしい（避難のお手伝いに必要な人数： 人）